

## 令和元年度 第1回坂町総合教育会議録（会議概要）

- |   |      |  |               |
|---|------|--|---------------|
| 1 | 日 時  | 令和元年6月21日（金）   | 15時00分～15時40分 |
| 2 | 場 所  | 坂町役場 会議室1  |               |
| 3 | 出席委員 | 吉田隆行町長・太田耕樹教育長・松村英勝教育委員<br>埤本友造教育委員・平沖純子教育委員・向井智恵教育委員          |               |
| 4 | 出席職員 | 新木総務部長・河本教育次長<br>新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長・藤原学校教育課主幹<br>（記録者） 畝学校教育課主事 |               |

### <会議概要>

1. 開会宣言（新木総務部長）
2. 吉田町長あいさつ
3. 「平成31年度坂町教育に関する大綱」について  
・河本教育次長概要説明

（吉田町長）

学力の向上について大綱に記述がある。新しい先生は授業中の声が小さく聞こえにくいとの声を聴いている。新人の先生の教育をしっかりとしないといけないと思う。塾に行かないといけない状況になる事は望ましくない。県教委がもっとしっかりしてほしい。

学校は週休5日制で、子どもを温室育ちにしている。グローバルな時代に通用するのかが危惧している。日本は先進国の位置づけではあるが、インドなどの学生たちのほうがハングリー精神をもっているように思う。

将来的には、坂町の子供たちがふるさと坂町に誇りをもち、夢や希望の実現に向かって挑戦できるハングリー精神のある「自立した社会人」として活躍してほしい。ハングリーで元気がいいといわれるような状況になってほしい。

4. 「平成30年7月豪雨災害 坂町復旧・復興プラン」について  
・新木総務部長概要説明

（吉田町長）

施設の関係等、ご要望はありますか。

(河本教育次長)

町政懇談会にてあがる質問などは、子どもの心のケアや災害を風化させない取組についても聞かれる。被災体験をした子どもが大人になったときに、またこのような状況になった時にどのような行動をとることができるかというのが教育で重要なところだと思っている。ただ訓練をするだけでなく、授業の中、いろいろなところで、自分で判断でき、また周囲を気に掛けることができるような子供の育成が重要と考えている。

(吉田町長)

宮古市には「津波てんでんこ」という、それぞれが避難しようという教えや子どものほうから大人に逃げるよう声をかける教育が子どもに浸透しているようなので、それらを参考にして、みんなで力をあわせていきたい。

(藤原学校教育課主幹)

いまの子どもたちが生きていく上で大切にしていきたい「自助・共助」について学習を進めているところです。「わたしたちの坂町」という副読本を町として作成し、小学校3・4年生を中心にして活用しております。昨年度の災害を記録に残していくため、各学校から差し込み用の原稿が上がってきているところです。

(吉田町長)

横浜地区でも災害の影響が2か所であった。一命を取り留めたが、大変な状況だった。

(藤原学校教育課主幹)

昨年度「わたしたちの坂町」を被災前に改訂した際、たまたま避難訓練等のページを増やしていた。水害碑の紹介や町全体の避難訓練等を挙げて、伝承等につなげていきたい。

(吉田町長)

小屋浦の水害碑は従前、国道沿いにあったが、現在のところに移設された。今後はこの場所に新たな石碑設けることになる。命を守るために子どもたちに何ができるのか？どのような行動をとればよいかに気づかせ、防災意識として身につけてもらいたい。

## 5. 「児童生徒の安全確保と教育環境の整備等」について

- ・新木総務部長概要説明

## 6. 各種事業等について

- ・金井宇宙飛行士ミッション報告会

- ・南加坂郷友会との国際交流事業
- ・メキシコビーチバレーボールチーム事前合宿
- ・オリンピック聖火リレー

6. 閉会宣言（新木総務部長）